



例会報告

今年度も残すところあと4ヶ月半！1年って結構早いですね。
残りの例会も皆で楽しんでいきたいですね☆



第747回 日本酒を守ろう☆

中島 大介 会員

日本酒を学び、楽しむ、良い機会となりました。一言で日本酒といっても、使用される水、米、麹、酵母は何種類もあり、組み合わせ次第で出来上がるお酒は十人十色で、その組み合わせの一つ一つが全国の蔵元の味となります。人と同様それぞれの日本酒が個性を持っていることに、改めて日本酒の奥深さを感じました。当日は日本酒を囲み、皆さんと楽しい一時を過ごすことができました。お酒をおいしく味わうには、何を飲むかはもちろん重要ではありますが、それ以上に、良い仲間と楽しく飲むことが大切な要素であると感じられました。

第748回 楽しいお仕事

明口 美知子 会員

今回は、歴史上の人物から学ぼうという事になり、前半は、沼田会員が、幕末に活躍した坂本龍馬・西郷隆盛・徳川慶喜・新撰組等を紹介し、顔と名前を当ててテストを行いました。ただ一人、清水会長が全問正解でした。後半は、明口が、二宮尊徳を紹介しました。尊徳は江戸時代の経営コンサルタントで、藩町村の建て直しや世界初の信用組合を作った人物。資料の写真や年表を見ながら説明し、三択クイズを全7問出しました。一人で担当するのは、初めてだったのでいろいろ心配しましたが、思ったより良く出来たと思います。

第749回 クリスマスパティー

岡崎 早智 会員

今年のクリスマスパーティではメンバーの個性を盛り込みたく、まずは委員長(神主)＝お参りでしょ！という発想からスタート！クリスマスなのに和風のBGMをかけ神社の鐘を鳴らしてお参り？と見せかけて、実はくす玉わり&クラッカーという演出を入れてみました。ゲームも例会と2次会両方用意し、内容もできるだけ今までにないようなものを探しました。さらにクラブ奉仕は全員レディーズサンタに変身と実は一番楽しんだのはクラブ奉仕では？というくらい楽しく準備・運営していました。その分盛りだくさんになってしまいましたが、楽しんでもらえたでしょうか？
また、今年はOBOG会の皆さんによる余興もあり、担当の私たちも「知らない楽しみ」を味わう事が出来てよりいっそう楽しかったです。ただ、パフォーマンス等がすごかったので私たちももっとメリハリをつけて頑張らなきゃダメかも？！って思った会員も中にはいたのではないのでしょうか。現役もOBOGに負けずに楽しむときは思いっきり楽しむぞ！

第750回 熱血・情熱

沼田 耕輔 会員

年明け初めの例会と言うことで、専門知識開発委員会では様々なダイエット方法について、発表させてもらいました。私個人の今年の目標として、「やせたい」という気持ちでいっぱいでしたので、今回の「やせたい」は大変参考になりました。ダイエット＝辛いという思いから今までは、長続きしなかった人も、多いのではないのでしょうか。しかし日常の生活から誰にでも挑戦できる事。(よく笑う、よく噛む)などはみなさんすぐにでも、始めてもらいたいと思います。私はこの例会の後から続けてますよ！とにかく、ダイエットは無理をせず、コツコツと粘り強くやっていたら、きっと成果が出ると思います。

第751回 氷まつり

松本 晃好 会員

今年も、恒例となりました帯広氷まつりに参加しました。今年のテーマは「LOVEおびひろ。」緑ヶ丘公園や帯広神社など木々のある場所で、愛くるしい表情を見せるエゾリスを中心に、私たちが愛する自然豊かな帯広を表現しました。結果は郵便局長賞と悲願でありました帯広市長賞の獲得にはなりませんでしたが、焼肉や談笑をしながら作業する会員の姿は、参加チームの中でも一番元気があり輝いていたのではと思います。寒さが厳しく時折強風が吹く中ででの作業は大変でしたが、皆で作りの上げた達成感、良い思い出となりました。

第752回 日本の領土①

永守 祥嗣 会員

今回は1回目ということで、北方四島の話と竹島の話でしたが、どちらも根深い問題であると実感しました。北方四島の問題で印象深かったのは、ロシアとは国際法上はまだに戦争状態であるという言葉でした。確かに平和条約を締結していない日本とロシアの関係は、国際法上の区切りがつけられていない状態だと再認識すると同時に、あまりにも日本のことについて知らな過ぎると感じました。竹島の問題では韓国との認識の違いや歴史的な背景を知ることができました。鬱陵島と竹島の関係は両国の国境線に関する問題の争点として興味深かったです。国際化が進展する中で日本が置かれている状況を正確に把握することに努めていきたいです。

結婚式の案内状“平服でお越し下さい”って書いてありますよね。
ドレスコードについて簡単に解説。

1. 大人の知識

Mifumi Shimizu

この他に“ホワイトタイ”っていうものもあります。
ノーベル賞などでのドレスコードです。
知りたい方や受賞予定者は私まで。

【スマートカジュアルでお越しください】
ジャケットとシャツ等の上品なカジュアルスタイルであればOK、セータなどで崩すのもいい。シーズンならワンウォッシュまでが無難。世界でも流行のドレスコード。

【平服でお越しください Business Attire】
スーツスタイルでOK。夜であればグレーを避け、夜の色である黒か紺を選択。平服が許される場合は正装を少し崩したスタイルも認められる。これはダークスーツからウイングスーツがドレスコードとなる。女性はツーピース、ワンピース等。

【ブラックタイでお越しください】
オフィシャルの場で正装と認められるタキシードの色は黒とミッドナイトブルーと呼ばれる深い紺色のみ。濃紺のタキシードを世に認めさせたのは、かのウインザー公。ブラックタイ指定のパーティーではその様式を崩してはいけない。そのルールは長い歴史を経て構築された礼儀作法である。女性はロングドレスやカクテルドレス、袖ありでもOK。

